



かみさと

議会だより

平成24年3月

No. 54

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木982番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429



1月臨時会のようなす（議長席より傍聴席を望む）



上里町マスコットキャラクター
こまぎっち

もくじ

12月定例会・臨時会議案等の審議状況	2～4
一般質問	5～10
議員研修等	11
議会日誌、編集後記等	12





12月定例会

12月5日～12日

■上里町要介護高齢者介護手当支給条例を可決

■上里中学校校舎棟実設計業務委託料を含む補正

予算を可決

12月定例会は、12月5日に開会され、平成23年度補正予算を中心とする町長提出議案11件と議員6名の一般質問、意見書等を審議して12日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

条例等関係

◎上里町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

○障害者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い改正を行うものです。

※ 審議結果 原案可決

◎上里町税条例の一部を改正する条例について

○地方税法の一部を改正する法律等の施行に伴い改正を行うものです。

※ 審議結果 原案可決

◎上里町要介護高齢者介護手当支給条例について

○在宅において、要介護高齢者の介護者に対する支援及び負担軽減の充実を図るためです。

※ 審議結果 原案可決

◎彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

○彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することについて協議するためです。

※ 審議結果 原案可決

◎埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

○埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することについて協議す

るためです。

※ 審議結果 原案可決

補正予算関係

◎23年度一般会計補正予算

○歳入歳出それぞれ2億4,923万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ79億176万5千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・庁舎管理事業 144万9千円
- ・消防施設整備事業 106万1千円
- ・徴収事業 384万8千円
- ・戸籍住民基本台帳事業 1,743万円
- ・交通安全対策事業 311万円
- ・環境衛生事業 300万円
- ・障害者福祉事業 3,244万9千円
- ・法人立保育所等運営助成事業 144万円
- ・重度心身障害者医療費支給事業 280万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 4,437万5千円

・老人医療費給付事業	
1, 530万3千円	
・ひとり親家庭等医療費支給事業	170万円
・子ども医療費支給事業	3, 710万円
・介護保険事業	436万円
・保健センター運営事業	616万円
・土地改良推進事業	155万7千円
・道路維持補修事業	276万円
・小学校管理運営事業	172万9千円
・小学校教育振興事業	318万5千円
・中学校教育振興事業	435万1千円
・上里中学校改築事業	5, 225万5千円
※ 審議結果 原案可決	

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

意見書関係

3種ワクチンの助成継続と早期に国の制度確立を求める意見書

子宮頸がん、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン等の3種のワクチン接種緊急促進事業は、平成22年度補正予算成立の11月26日から平成23年度末までの時限措置として実施されてきたが、ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワクチンについては一時停止時期があり、子宮頸がん予防ワクチンは供給不足が発生し、当該対象者に十分に行き渡ったとは言えない状況である。また、これらの3種ワクチンは、欧米では公費接種として認められているところであり、短期の時限事業で終了するべきではなく、国民の健康維持増進のためにも継続して公費負担で実施されることが望ましい。

既に厚生労働省の予防接種部会では、これらのV P D（ワクチンで防げる病気）についてのワクチン定期接種化と日本の予防体制改善を求め、法改正も提言されている。

医療現場においては、子宮頸がん予防ワクチン接種が既に平成23年度内には公費で3回接種できない段階に入っており、次年度以降の公費負担の取り扱いについて、早急な判断を求める声が上がっている。

よって、国におかれては、地元自治体に負担を掛けることなく、国の財政支援を明確にした上で、早期に下記の制度を確立されるよう求めます。

記

- 1 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワクチンについては、定期接種化までの間の臨時促進事業を継続すること。
- 2 高齢者に対する肺炎球菌ワクチンを含むV P Dに対する公費定期接種の継続及び拡大を図ること。
- 3 安心して平等に受けられる予防接種体制を確立すること。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月12日

埼玉県児玉郡上里町議会

衆議院比例定数の削減に反対し民意が反映できる選挙制度を求める意見書

政府においては、「参議院の定数削減」「衆議院の比例定数削減」を検討している。しかし、比例定数を80削減すれば比例の定数は100になり、衆議院は小選挙区300、比例100となり、定数の内の4分の3は小選挙区で選ぶことになる。

比例定数の削減は、少数党とこれを支持する民意を国会から締め出すことになる。2009年総選挙結果での試算では第1党が衆議院で3分の2以上の議席を得ることになる。

国会は国民の意思をくみ上げ、十分な審議を尽くす使命を持った「国権の最高機関」です。国会議員を選ぶ選挙制度は、国民主権の原理に基づき多様な民意が公平・公正に反映されるものでなければなりません。小選挙区では大半の得票が議席に結びつかない「死に票」となり、国民の民意の多くは国会に届きません。選挙制度は民意を議席に正確に反映するものにすべきです。

よって政府においては、選挙制度の改定はより多くの国民の声を聞き、民意を締め出す比例定数の削減は行わないよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月12日

埼玉県児玉郡上里町議会

1月臨時会
1月31日

契約関係

◎工事請負契約の変更について

○上里公共下水道事業汚水管渠築造工事（4工区）の変更を行うものです。

・当初の契約金額

5,659万5千円

・変更による減額

161万7千円

・変更後の契約金額

5,497万8千円

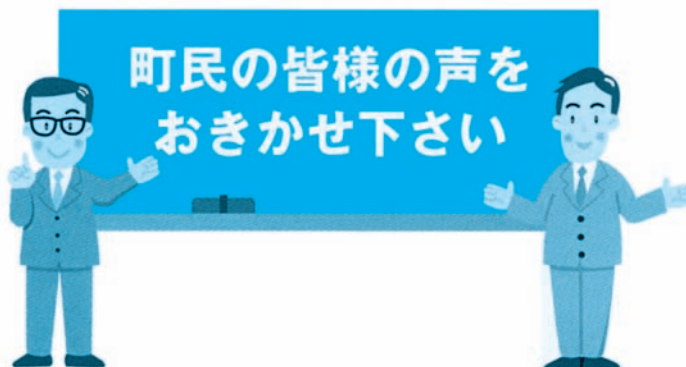
※ 審議結果 原案可決

条例関係

◎専決処分の承認を求めることについて

○税条例の改正を12月14日に専決処分したので、その承認を求めるものです。今回の改正は、東日本大震災における被災者への負担軽減を目的とするものです。

※ 審議結果 承認



「議会だより」に対するご意見
質問等がございましたら、議会事務局までご要望をお寄せ下さい。
より良い議会だより作成の為の
参考にさせていただきます。

一般質問



議席番号
2番 山下博一

【質問事項】

1. 洪水対策について
2. 小中連携教育について
3. 介護保険給付について
4. コンピュータ・ウィルス対策について

1 洪水対策について

(問) 台風12号が残した町内の洪水の状況について伺います。

(答) 町内の被害状況は、床上浸水3件、床下浸水14件で、農産物の被害面積はネギ、ブロッコリー等合計約28haになります。県の特別災害の指定を受け、農作物被害助成申請に基づき31件の被害農家に補助金が交付されました。

(問) 御陣場川・忍保川や住宅側溝等の洪水対策全般と、浸水被害対策として有効と言われている、内水ハザードマップの策定について伺います。

(答) 御陣場川・忍保川の一級河川は、管轄の本庄県土整備事務所に迅速な対応をお願いしています。また、より多くの雨水流量をとらえられるよう河川構造の改修を要望していきます。内水ハザードマップの策定は、洪水ハザードマップとともに有効的であるとされており、ハザードマップの周知と合わせて検討致します。

※内水ハザードマップとは、まだ川まで到達していない宅

地や農地側にある水のことです。



御陣場川 (台風12号)

2 小中連携教育について

(問) 小中一貫教育時代の小中連携教育の必要性について。

(答) この目的は①学童・生徒全体の教育レベルの底上げ、②不登校児童生徒の解消、③豊かな人間関係の推進等について伺います。

(問) 町は小学校にALTを導入、小中一貫の英語教育を実施しています。また、中学校の管理職が、小学校に出向き6年生の保護者向けの中学校生活の概要について、学習の機会を設けて成果を上げています。今後は取り入れられるところは取入れ、教育の質的な向上を図ります。

※ALT…外国語指導助手

AssistantLanguageTeacher

(問) 小中連携を目指した、小中学校教師の交換授業や人事交流について伺います。

(答) 町は年3回、小中間で教員同士がお互いの授業を参観し合い、情報交換を実施しています。人事交流については、来年度上里中、上里北中の生徒指導の職員が、中学に在籍しながら小学校の教員を兼務し、週に3時間ほど小学校で授業を行う県の企画に応募して現在許可待ちの段階です。

3 介護保険給付について

(問) 介護保険給付費の適正化(要介護認定に確認、住宅改修の実施点検、給付費比較のチェック、医療情報との比較、ケアプランの点検)の進捗状況について伺います。

(答) 町の介護保険の現状は、23年末で第1号被保険者数が5,705人、要介護認定者数は792人、65歳以上7人に1人が、要介護認定を受けています。介護サービス利用者数は663人、居宅介護439人、地域密着型49人、施設介護175人です。

介護給付費が22年度12億2,900万円で、高齢化の進展

で介護給付費の増大が見込まれ、介護保険料の上昇は否めません。要介護認定の適正化は、調査員5名と臨時職員による直接調査と委託調査を実施しています。医療情報との突合を実施したところ、20件の過誤請求の指導を行いました。介護給付費通知は、年2回架空請求や過剰請求等の抑止のため給付費の通知をしています。

4 コンピュータ・ウィルス対策について

(問) 最近、参院・総務省など不正メール等からウィルス感染するケースが続発しています。ウィルス対策の実施状況について伺います。

(答) ウィルス対策として、ウィルス対策ソフトを導入し、各職員のパソコンの状況を監視しています。不正メール対策は、不正メールと思われるメールの場合、添付ファイルを開けないよう注意しています。

一般質問



議席番号
1番 植原育雄

【質問事項】

1. 地域のつながり再生事業について
2. 町指定文化財の保護と保存及び職員体制について

1 地域のつながり再生事業について

(問) 要支援者（要援護者）の対象者について伺います。

(答) 対象者は65歳以上の一人暮らしの高齢者、70歳以上のみの世帯の方、要介護度4以上の認定者、重度の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳の所持者の方、その他、支援が必要と認められる方で平成24年1月以降に配布予定の地域支え合いマップ登録申請の提出者の方で1,151名です。

(問) 支え合いマップ登録の同意方式について伺います。

(答) 平成24年1月以降に配布予定の地域支え合いマップ登録申請の提出時に本人の情報や区長、民生児童委員に提供するための同意を求め、予定になっています。

(問) 要支援者（要援護者）に対して支援者が不足する場合や1人の支援者が複数の支援（援護）を必要とする者を支援する場合、又、災害時に登録した支援者が駆けつけられない場合などの対応について伺います。

(答) 上里町の地域支え合い

マップは、主に高齢者等の日頃の見守り活動に役立てていく予定で、災害時には、要援護者の特定や安否確認等に利用したいと考えており、災害時には、まず地域で支え合い、災害対策本部等が不足を補う形となると思われれます。

(問) 町民に対して、支え合いマップづくりの重要性の認識と防災意識の高揚のためのアピールの方法並びに支え合いマップを活用した避難訓練等について伺います。

(答) 上里町の地域支え合いマップ作業事業は、主に高齢者等の日頃の見守り活動に利用するために作成するものですが、地域支え合いの重要性の認識についての周知を図って参りたい。マップを利用した防災訓練等については、来年度以降、防災担当課等で検討し、各行政区の実情に合わせて実施に向けて働きかけて参りたい。

2 町指定文化財の保護と保存及び職員体制について

(問) 町指定文化財で個人もしくは団体が管理しているもの及び町指定無形民俗文化財

団体の保護と保存について伺います。

(答) 上里町には、先人たちが残してくれた貴重な有形文化財や無形文化財があります。これらを後世の人たちに伝えていくことは、現在を生きる我々の責務であると考えています。

町指定文化財は、有形文化財43件53点、無形民俗文化財7団体ですが、現在、同団体のうち3団体は休止状態となっています。

町指定の有形文化財と無形民俗文化財団体（休止団体を除く）には、保存、伝承のために補助金が交付されていますが、特に無形民俗文化財団体については、補助金の交付だけでなく、発表の場を設けて地域の方々に活動の成果を見ていただくことが重要でありますので、今後は、各地区の祭りの時だけでなく、公民館祭りや町民ふれあい祭り等を利用して多くの方々に見ていただけるように発表の場を設けていきたい。

現在休止している金讃神楽忍保組や黛音頭は、地元小学校で郷土の文化や祭りについて

調べる地域学習が行われています。又、学校からの要望により郷土資料館では、地域の歴史や伝統を伝える授業（出前授業）を行っています。



東音頭

(問) 貴重な町の文化遺産を将来の町のために受け継いでいくための職員体制について伺います。

(答) 本町においては、ここ数年で定年退職を迎える職員が多いため、後継者の育成は急務であり、事務事業や組織の見直し等を検討する中で、業務に支障が生じないようにしていきたい。

一般質問



議席番号 3番 植井敏夫

【質問事項】

1. 少子化対策について
2. 空き家対策について
3. 上里町のハーモニーガーデン都市計画づくりについて
4. 上里町の福祉バスについて

1 少子化対策について

(問) 人口が減少すれば、衣食住など全ての産業に影響を与えます。町の人口が減らないような政策を考えているか伺います。

(答) 少子高齢化社会が進展する中で、地域間競争はますます激しくなるのではないかと考えております。地域の活性化を維持するためにも工場を誘致し、雇用の場を確保することが有効な手段であると思えます。

(問) 上里町の待機児童の現状と今後の対策について伺います。

(答) 平成23年度に10名の定員増を行い、4月現在、町内6園に合計611人が入園しており、待機児童はいまませんでした。

(問) 婚活支援については、最近、テレビや新聞報道で多く取り上げられております。現在、交際相手がいらない18歳から34歳までの人のアンケート結果によれば、結婚したいのにできない人がたくさんいるのが現状のようです。このような状況を踏まえ、行政が出会いの機会を設けることについて伺います。

2 空き家対策について

(答) 上里町社会福祉協議会では、結婚を希望される方に登録していただき、毎月第2水曜日に結婚相談を実施しています。また、今年の12月、本庄市内のホテルにおいて、上里町・本庄市・神川町社会福祉協議会と合同で、登録者を一同に介し、クリスマスパーティーを実施する予定です。

3 上里町のハーモニーガーデン都市計画づくりについて

(問) 現在の空き家対策は、どのような状況なのか伺います。

(答) 昨年末、空き家の現状を把握するため、区長の皆様に調査を依頼し、111件の情報をお寄せいただきました。空き家が増えて防犯や安全面で問題となっております。上里町の実情にあった条例案を策定し、年度内には条例を上程したいと思えます。

4 上里町の福祉バスについて

(問) 本年は町制施行40周年を迎え、さまざまな行事が開催され、これから50周年に向けて、環境に恵まれてい

る上里町に町内外から多くの

人たちが集まる特色ある町づくりで、町おこしを考えてはいかがでしょうか。

町おこしの一環として、イギリスが起源とされるオープンガーデンをしてみるのは、どうでしょうか。現在、取組みが行われているのは、毛呂山町・川島町・熊谷市・深谷市です。町も地元のボランティアの協力を得たり、ガーデンニングに工夫している家の協力を得ながらオープンガーデンのような取組みをしたらどうか伺います。

(答) 深谷市では、平成16年度より『オープンガーデンフェスタ』と題して個人の方の庭を觀賞していただく催しが実施され、大変賑わっており、特色のある良い取組みだと思っております。オープンガーデンを実施することになると、個人の庭を開放して見学していただくことになりません。庭を開放していただける方がどれくらいいるのか、また、持ち主等の了解が得られるのか等、さまざまな課題がありますので、実施例を中心に調査・研究することが必要と考えています。



4 上里町の福祉バスについて

(問) 福祉バスの今後について伺います。

(答) 福祉バスについては、利用者が少ないから止めたほうが良いなどの声寄せられますが、交通弱者といわれる高齢者・身体障害者の交通手段として運行しています。デマンドバスの導入について、最適な交通手段となり得るのか調査研究を進めていき、また、現在の福祉巡回バスについても、巡回ルートや巡回場所など、課題となっているところの見直しを図りたいと思っております。

一般質問



議席番号 10番 沓澤 幸子

【質問事項】

1. 放射性物質から子ども達を守ることにについて
2. 町民の暮らしを守る対策について
3. 同和対策事業について

1 放射性物質から子ども達を守ることにについて

(問) 放射線量測定器を、町民に貸し出すことで、気がつかない所の状況が把握できません。高い場所が見つかった場合、除染の基準はどう考えていますか。

(答) 町民の測定希望に応えきれないので、測定器を貸し出します。測定結果の報告をいただき把握したいと考えています。必要があれば国等の基準に基づき対応を考えます。

(問) 厚生労働省は、乳児用食品の区分を設け基準値の議論に入り、文部科学省は、学校給食食材の安全の目安を出しました。学校給食の測定と町内農産物の測定をし、公表して下さい。

(答) 農産物は県が全市町村の調査を実施しています。表示については農協と相談し、やりたいと思っています。学校給食センターでは、今後、出来上がった食材を検査する「給食まるごと検査」に取り組みたいとのこと。

(問) 夏のプール使用に当たっては、1年間溜まった汚

泥を子ども達が掃除することへの不安の声があります。

(答) 来年度は、プール利用前に、ヘドロについて放射能検査を行い、高い場合は除去並びに高圧洗浄等の措置を考えています。



放射線量測定器

2 町民の暮らしを守る対策について

(問) 来年度改定の介護保険制度では、要支援認定者の介護保険サービスを日常生活支援総合事業に移すことが出来ますが、サービス低下が心配です。総合事業は実施しないよう求めます。

(答) 総合事業は市町村の判

断によります。本町では既存の地域支援事業の中で対応してきていますので、当分は導入しないと考えています。

(問) 改定にあたり、一番の心配は保険料です。年金は目減りしている上に値上げは困る、というのが高齢者の共通した思いです。

(答) 保険料の水準が加重にならないよう、低所得者の方にも配慮した方策を検討したいと思っています。

(問) 国保税滞納世帯の実態を掴み、納められるよう、減免や納税緩和制度を活用し、適正な処理を行うべきです。

(答) 納付困難理由が分からないと判断できないので、相談に来た段階で、理由によっては、納税猶予や分納の説明・申請を案内しています。

(問) 国民健康保険法第44条は、医療費の支払いが困難な場合、減免、徴収猶予ができるとしています。国保税の法定減免世帯や分納世帯には、積極的に知らせ早期治療が出来る対応が必要です。

(答) 国保税の減免等の対象となられた方等も含め、関係

課と連携し、制度の周知を図ってまいりたい。法定減免の皆さん方は、生活が苦しい立場ですので、町に相談していただきたいと思っています。

3 同和対策事業の終了について

(問) 人権共生課の仕事は、同和対策事業と男女共同参画事業です。どちらも教育に関わるので、生涯学習課に統合してはどうですか。

(答) 役場内全体の組織体制の見直しなども含め検討していきたいと考えております。

(問) 本庄市は11月29日「同和問題に関する民間運動団体への対応方針は本日をもって廃止する」と明快な表明をしました。上里町も終了を決断すべきです。

(答) 様々な人権問題解決に向けた教育及び啓発を総合的な観点から分析し、新しい観点に立って、地域の状況や事業の必要性的な確かな把握に努め、近隣の状況を踏まえ対応したいと考えています。私も決断したいと思っています。

一般質問



議席番号 6番 中島美晴

【質問事項】

1. 災害情報の発信機能の充実について
2. 学校施設の防災機能向上について
3. 学校給食について
4. 読書活動の推進について

1 災害情報の発信機能の充実について

(問) 上里町も遠隔地の自治体と姉妹都市、友好都市の提携をし、災害時ホームページの代理掲載の仕組みを整えておくことが必要ではないかと思えます。このことについて町長は、いかがお考えでしょうか。

(答) 今後、自治体を選定し、相互協定を結ぶよう検討してまいりたい。

(問) 災害発生時に、他の自治体や民間企業から、物資の供給や人員派遣などの支援を受ける災害時応援協定について、上里町の現状を伺います。

(答) 県内すべての市町村を筆頭に、社団法人埼玉県建設組合、埼玉県電気工事工業組合、本市児玉郡医師会、郵便事業(株)上里郵便局と締結をしています。

また、現在検討している業種については、ダンボール業者や飲料水のベンダー企業等の業種です。

2 学校施設の防災機能向上について

(問) 学校を地域の防災拠点

とすることについて、伺います。

(答) 現在、町内の指定避難所については、26カ所あり、町内の中学校2校、小学校5校を避難所としての指定をしています。また、各小中学校には、防災倉庫を設置しており、防災用物資が保管されています。



(問) 小中学校では、現在、どのような防災教育がされているのでしょうか。

(答) 安全教育の一環として、すべての学校で火災や地震災害を想定した避難訓練や教室での安全教育を年3回実施しています。

しかし、今回の大震災を通して、従来の地震対応マニュアルでは、対応できない課題も明らかとなりました。そこで、新しい学校防災マニュアルを作成し年内完成を目指して進めています。

3 学校給食の安全対策について

(問) 学校給食食材の放射性物質の検査について、保護者の不安を解消する取組みとして、給食センターから学校へは、どのように報告されており、学校は、保護者にどのような方法で周知されているのかお聞きします。

(答) 保護者に対する学校給食の安全性についての広報等については、本庄上里学校給食センターのホームページに掲載していますし、毎月、学校を通じて全児童・保護者へ配布している学校給食だよりに掲載してまいりたいとこのことです。

(問) 食物アレルギー対応給食についてお伺いします。

(答) 平成22年10月から試験的なアレルギー対応給食を経て、本年4月からすべての学校を対象に実施されています。

現在、アレルギー対応給食で実施しているアレルギー原因食品は、卵、乳及び乳製品です。実施状況ですが、上里町の対象者は、小学生4名です。

4 豊かな人間性を育む子どもの読書活動の推進について

(問) 児童・生徒の読書活動を推進し、言語力の育成を図っていくためには、学校図書室の充実が求められます。今後の蔵書整備計画について伺います。

(答) 計画的に図書を整備し、平成23年度末には、すべての小中学校で達成できる予定と見えています。

(問) 町立図書館の整備・充実について伺います。

また、当初計画に盛り込まれていた閉架書庫の増設については、その後の対応について伺います。

(答) 近年、修繕や大規模な改修を必要とする箇所が以前より多く出てきています。今年度も高圧電流負荷開閉器関連の修繕を終える予定です。また、閉架書庫の2階部分の増設ですが、今、検討を進めています。

一般質問



議席番号 5番 納谷克俊

【質問事項】

1. 雨水排水対策について
2. 上里サービスエリア周辺地区整備事業について
3. 子どもの虫歯予防について
4. 都市計画道路古新田四ツ谷線について

1 雨水排水対策について

(問) 台風12号による記録的な大雨により、町内でも大きな被害が発生しました。都市計画道路三田久保原線と三田中通り線の交差点付近一帯では、道路より流れ込んだ雨水により床上浸水が発生したり、通学路が冠水して小学生が登校出来ないという状態でした。

三田久保原線北側の側溝はセブンイレブン前から埼玉信用組合までの間の断面が、下流側より小さくなっています。この間を改修することにより雨水による被害が大幅に軽減されると予想されますが、改修の計画はあるのでしょうか。

(答) 三田中通り線と三田久保原線の上流域からの排水流量は非常に多く、一部区間で冠水被害が発生しています。冠水区間について軽減出来るよう、改善策を検討しており、実施に向けて進んでいます。

2 上里サービスエリア周辺地区整備事業について

(問) スマートインターチェンジ設置に向けての進捗状況

について伺います。

(答) 震災復興の財源確保にスマートインターチェンジ整備の財源も対象となったため、今後の取り扱いが不透明な状況になっていました。

第3次補正予算により一定の用途がついたと考えており、いつ申請受付が再開されても対応できるように、実施計画書の時点、修正作業をおこなっています。

(問) 企業誘致については、上里町企業誘致条例を活用して全町あげて取り組むのとありますが、具体的にはどのような活動が行われているのでしょうか。

(答) 6月下旬に上里町周辺の製造業約360社を対象に企業立地アンケート調査を行いました。

分譲募集手続きとあわせて、アンケート結果に基づく立地希望企業への個別訪問をはじめとする企業誘致活動を積極的に実施していきたいと考えています。

3 子どもの虫歯予防について

(問) 虫歯予防のポイント

は糖分対策、虫歯菌対策、フッ素・歯質対策であり、これらをバランスよく行うことが大切です。

歯質対策はフッ化物洗口のことであり、幼稚園・保育所、小中学校で実施することにより、安価で大きな成果を上げている自治体があります。

上里町においても幼稚園、保育所、小学校での事業実施を考えていくべきではないでしょうか。

(答) 本人や保護者、所管課、施設や学校、歯科医、学校医、薬剤師などがフッ化物洗口の意識を共有することが事業実施に向けての不可欠な要素であると考えます。



虫歯予防授業

この事業は神川町が実施していますので、事業導入の経緯、取組み状況等を調査したいと考えております。

4 都市計画道路古新田四ツ谷線について

(問) 事業の進捗状況について伺います。

(答) 工事金額ベースで52.6%となっています。未買収用地が2件残っていますが、今後も事業の目的をご理解いただき、ご協力いただくよう粘り強く交渉を進めていきたいと考えています。

(問) 古新田四ツ谷線は上里東小、上里中の多くの児童生徒が通学路として利用しています。

歩道部分の舗装を先行して行い、通学路として利用しやすくするよう提案致します。

(答) 舗装工事についてはなるべく多くの面積を一度に施工することにより経費の節減を考えていますが、交通安全対策の面から工事進捗状況を考慮しながら検討していきたいと考えています。

児玉郡町議会議員後期研修会



児玉郡町議会議長会主催による平成23年度後期研修会が、2月9日(木)に上里町役場大会議室において、来賓に県会議員、本庄市長、郡内町長の出席を頂き、郡内3町(美里町・神川町・上里町)の議会議員が出席し開催されました。研修に先立ち、長年にわたり地方自治の進展に寄与されました方に対して、伊藤会長より表彰状の贈呈が行われました。

研修会においては、講師に

山梨学院大学教授「江藤俊昭」氏を迎え「地方分権時代の地方議会、議員の役割」と題し講演を頂きました。

地方議会の現状について、アンケート調査したところ、満足されていない不満派が約60%を占めている結果になりました。現実、多くの地方議会では、住民が満足しておらず、住民の意向は、もっと情報公開や議会への住民参加を求めています。

新しい議会とは、住民参加を積極的に導入し、行政や議会も議会報告会、意見交換会などを行い、住民に開かれ住民参加を促進し、首長とも切磋琢磨し与野党の関係もなく、政策立案の役割を發揮し、議会の存在意義である議員同士の討議と議決を重視する議会であります。また、議員定数を考えると委員会の定数は、論議するには7〜8名が望ましいとお話があり、議員数もある程度、必要とのこと

でした。上里町の議員定数は14名であり、委員会も6〜7名で構成されておりますので、人数的には問題ないと思われまます。

住民に開かれた議会、住民に信頼される議会を再構築するためには、議会が変わらなければならぬ。地域民主主義の実現に向け、住民自治を進めていくうえで必要であることを今、研修を通して改めて確認しました。本日の研修会で得たことを今後の議会活動に生かしてまいりたいと思っております。

児玉郡市広域消防本部

児玉郡市広域市町村圏組合は、地方自治法に基づく特別地方公共団体で、1市3町(本庄市・美里町・神川町・上里町)で組織され、消防・斎場・し尿処理・ごみ処理等の事業を共同処理しています。今回は、それぞれの事業の中で、消防について紹介します。

両として、はしご付消防自動車・化学消防ポンプ自動車・救助工作車などが配備されています。職員197名で、地域住民の生命・財産を守るため、24時間体制で日夜活動しています。

児玉郡市広域消防は、昭和48年3月に発足し、年々整備拡充され、現在1本部(総務課・予防課・警防課・指令課)1署6分署から構成されておりまます。

広域圏組合の平成23年度一般会計当初予算49億650万5千円の内、消防費は20億776万6千円であり、総予算の41%を占めています。主な支出としては、災害や高度の救急医療に対応した高規格車両等の購入であり、署・各分署に順次、配置しております。

消防署・各分署には、消防ポンプ自動車、救急自動車等が配備され、その他、特殊車

現在、広域消防では、消防

本部・署及び指令業務等の各機能を集約し、業務の効率化及び消防力の強化を図るとともに、災害対策の拠点として耐震性を備え、不測の事態に備えるために新消防本部庁舎の移転計画が進められています。また、移転に伴い、本庄南分署は新消防本部庁舎へ業務を移し閉庁となる予定です。新庁舎の進捗状況は、今年度、用地買収が終了し基本計画の策定中です。建設場所は、上里町に隣接する本庄市西富田地内で面積16,500㎡、予定施設は、消防本部の他に屋外訓練場、防災ヘリコプター離着陸場などで平成26年度の完成予定です。



消防訓練施設

議会の傍聴 について

定例会が開会される前になると、「議会を傍聴したいのですが、手続きを教えてください。」という電話をいただきますので、議会の傍聴について説明します。

上里町議会は、年に4回(3月、6月、9月、12月)開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。どなたでも議会を傍聴することができます。

傍聴の手続は、役場庁舎4

階東側のエレベーターを降りたところから右側に進むと、受付カウンターの上に傍聴人受付簿がありますので、必要事項を記入し傍聴席に入場してください。入場する際は、傍聴人心得を厳守してください。

傍聴席は、34席(記者席2含む)あり、車いすでの傍聴もできます。満席の場合は、1階町民ホールのテレビでの傍聴も可能です。皆さん、傍聴においでください。



議 会 日 誌

12 月

- 5日 12月定例会初日 開会、町長の行政報告
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 議案審議(条例等、補正予算)
- 8日 年末年始特別警戒出陣式
- 12日 定例会最終日(意見書採決)
- 12日 全員協議会
- 17日 塙保己一賞表彰式・記念公演
- 26日 兄玉郡市広域市町村圏組合議会

1 月

- 8日 上里町消防団・署出初め式
- 8日 上里町成人式
- 14日 こだま青年会議所新年名刺交換会
- 16日 埼玉県町村議会議長会正副会長会議
- 16日 県知事・市町村議会議長新年懇談会
- 18日 上里町商工会賀詞交歓会
- 26日 兄玉郡町村会賀詞交歓会
- 27日 兄玉工業団地工業会賀詞交歓会
- 27日 埼玉県町村議会議長会役員会議会だより編集委員会
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 西崎キク生誕100年記念企画事業
- 31日 臨時議会
- 31日 全員協議会

2 月

- 8日 埼玉県後期高齢者医療連合議会
- 9日 兄玉郡町議会議員後期研修会
- 10日 彩の国さいたま人づくり広域連合議会
- 15日 埼玉県町村議会議長会正副議長、局長合同研修会
- 16日 議会だより編集委員会
- 23日 兄玉郡市広域市町村圏組合議会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 かみさと音楽祭

3月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、3月2日(金)に開会の予定です。なお、一般質問は、21日(水)、22日(木)の2日間の予定です。

●お問い合わせは議会事務局へ
電話35-1216(直通)

6月定例会の一般質問は、会期初めを予定しています。

編集後記

この議会だよりがお手元に届く頃には冷たい北風もいくらか和らいでいることと思います。

読まれる紙面作りに重点をおいて議会だより作成に取り組んでまいりましたが、現在の編集委員会メンバーでお届けする議会だよりも本号で最後となりました。

次号からは新メンバーによる編集となりますが、しっかりと課題の引き継ぎを行い、より一層、皆さんに親しまれる議会だよりづくりを目指します。

委員				委員長		議会だより編集委員会
				山下博一	中島美晴	
植原育雄	高橋正行	納谷克俊	小暮敏美			

